

令和6年度「岡山県愛の血液助け合い運動」実施要綱

1 目的

医療に必要とされる輸血用血液製剤及び血漿分画製剤を県民の善意の献血により確保するため、若年層を中心に広く県民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、医療需要の高い400mL献血、成分献血の推進及び普及を図る。

2 期間

令和6年7月1日（月）から8月31日（土）までの2か月間

3 主催

岡山県献血推進協議会（会長：伊原木隆太 30機関・団体）

4 後援

岡山県医薬品配置協議会	岡山県石油商業組合
岡山県美容生活衛生同業組合	岡山県遊技業協同組合
岡山県理容生活衛生同業組合	(一社)岡山県医薬品登録販売者協会
(一社)岡山県銀行協会	(一社)岡山県タクシー協会
(一社)岡山県トラック協会	(一社)生命保険協会岡山県協会
(公社)岡山県バス協会	ライオンズクラブ国際協会 336-B地区

5 実施事業

(1) 普及啓発活動

① 月間オープニング行事

○日 時：令和6年7月1日（月）

a オープニングセレモニー（10時00分～10時30分）

献血ルームうらら（岡山市北区いずみ町3-36）

b 献血キャラバン隊（10時30分～）

県内の高校、専門学校等

○内容：オープニングセレモニーを行った後、献血キャラバン隊が県内の高校、専門学校等を訪問し、岡山県献血推進協議会長のメッセージ及び啓発資材を届け、献血への協力をお願いする。

② 広報活動

ア テレビ、ラジオ、新聞、各種広報紙等を活用し、本運動の周知徹底を図る。

イ 献血推進協議会長メッセージ及び普及啓発資材を、各保健所・市町村から、事業所・学校等に伝達・配布する。

ウ 各保健所においては、管内市町村と連携のもと、あらゆる機会を活用してポスターの掲示、啓発用パネル等の展示会を開催する等、地域の実情を踏まえた啓発事業を展開する。

(2) 献血の実施

①職域献血

各職域において献血を実施する際、職域内において本運動の周知と献血の協力を呼びかける。

②地域献血

地域において献血を実施する際、地域内において積極的に本運動の周知と献血への協力を呼びかける。

③街頭献血

月間中百貨店、スーパー等で献血を実施する際、付近住民及び通行人に対し、本運動の周知と献血への協力を呼びかける。

(3) 若年層への普及啓発

青年赤十字奉仕団及び学生献血推進連盟等の協力を得て、献血思想の普及啓発を図る。

(4) 献血感謝のつどい

長年にわたって献血推進活動に功労のあった団体等に対し、厚生労働大臣表彰等の伝達や、岡山県知事感謝状等の授与を行い、献血推進への理解と協力を求める。

○日 時：令和6年8月5日（月）13時30分～15時30分

○場 所：岡山国際交流センター（岡山市北区奉還町2-2-1）

6 関連事業

(1) 献血ルームイベントの実施

献血ルームうらら（血液センター）・献血ルームももたろうで各種イベント等を実施し、献血者に対するサービスを展開する。

(2) 移動献血車等による献血の実施

月間中に移動献血車を延べ約120台配車し、献血への協力を呼びかける。